

今月のことば

道徳律とはわかりやまいものである。

それは世の中か「自分のような人間」ばかりであっても、愉快に暮らしていけるような人間になるということに尽くされる。

それが自分に祝福を贈るということである。世の中か「自分のような人間」ばかりであつたT=いへん住みにくくなるという夕夕の人間は自分自身に呪いをかけているのである。

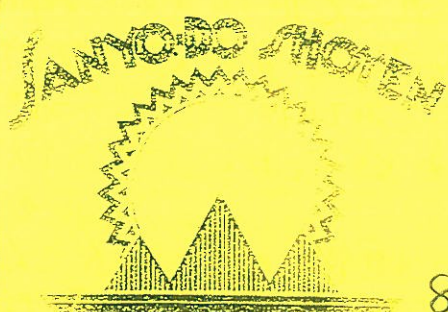
この世にはさまざまな種類の呪いがあるけれど自分で自分にかけた呪いは誰にも解除することかできない。

そのことを私たちは忘れかちなので、ここに大書あるのである。

2008.1.19 在リサト 内田樹(うしろ下)の研究室「モラルハサートの構造」より一部抜粋

山陽堂だより 49

2018年8月葉月



山陽堂書店

『明治末から昭和40年代 目で見る 山陽堂周辺の移りかわり』

昭和40年の半ば(位)まで山陽堂の余斗向い、東食品・サマサタバサの辺りに「原商店」という写真屋さんがありました。今は東店さかれています。5年前にNHKの「おほお日本」で山陽堂をとりあげてもらったとき、それをみた原さんが昔の写真を送ってくれました。これらの写真やこの近所の方に提供したたいたもの、山陽堂のアルバムにあつたものなどを資料と共に展示しています。当時の青山のこゝをこ存知(年代別に)の方せでキリットに書いて残していつくたさる。また、山陽堂の店のものでお話ししていただけたらうかししいです。

多岐 9/2(月) ~ 14日(土) 10:00 ~ 18:00
「目で見るとかいいしー」
9/7、10、12(土)

松尾スズキ 原画展

とらやうか
むらさ
悲劇性 野



心温まる
ハンな物語

夏休み
8/13(火) - 8/18(日)
今年はいつもあり長めのお休みをいただきます。どうぞよろしくお過ごしください。

8/8(木) ~ 8/30(金)

目で見る

初の書き下ろし
芥川賞に
2席に
松尾さん

「9月9日に
トークもある」
アタシのマクカフ
あります。
来2400

安西水丸『七夕の夜』③

7.17(水) ~ 8.3(土) 「水丸放談」7.24(水) 31(水)

ホロハイ 8月号の表紙。こゝに描られましたか？
タイムリーにも、水丸さんが描かれた表紙でした。
特集は「カレーと本」。お近くにホロハイ8月号をお持ちの方
25ページを開いてみてください。こちらでも水丸さんの描く
ウルトラマンやスーパーヒーロー、カレーや本のイラストレーションがこぼ
いたたけます。

オーフニングは、恒例の山アズさんの「夕タリク」。
いつもワクワクするような夕タリクだったのしませてください。

『七夕の夜』③では、村上春樹さんとの共著『日出る国の
工場』の挿絵にある水丸さんの自画像(うしろ姿)を
参考にしてクッキー型から作成、ちよとした背中のくぼきなど
忠実に再現して、しかも美しいのです。その水丸さんの
うしろ姿クッキーと『七夕の夜』③の形のクッキーがギャラリー
の窓辺で、黄色い布を背景に吊るされて、そよそよと夕陽の
風に吹かれていました。あともうひとつの目玉は、スイカの
シャーベット、パッションフルーツのリアルを好みでかけていたんですよ。

「水丸放談」①②では、スロースタイルの「ADLIB展」と、いつも
水丸さんといっしょにたのしませてください。イラストレーターの和田誠さん
もご登場ください。「31日夜の山陽堂『水丸放談』は
絶妙のかけあいトークLIVE。二人の笑顔と話題が最高。
月に一回定期的に聴きたい。『和田さんは、会話そのものが
Designされていますからね』by 安西水丸。なるほど。」こんな感想も、
トークのあとは、いろいろなとらに、言語の輪かできて、時々メンバー
チェンジ。輪も大きくおたり小さくおたり、ひとつになつたり。

「本日は、これにて終了で——あ」という夕タリクかなかなかみつけ
れなかつた。今年もとらもたのしい『七夕の夜』でした。

モーニング 8/15 『草子ブックガイド』

6月にギャラリーで開催した

「草子ブックガイド展」。作者の五川重機さんが表紙に、
山陽堂書店を描いてくれました。今回の掲載マンガ、本店の
3階で出張執筆してくれました。展セットイベントの様子が
まわつていいます。五川さん布施さんありがとうございます！

七夕

③

夜

③

アサヒにみえたい
もりあかしているのぞ

山陽堂
ハローサマーナイトハイの表紙